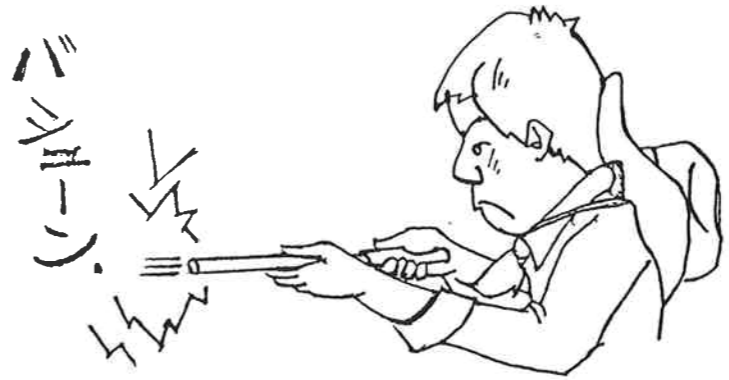


# 手づくりの まぜび

## 音の大きさ 飛んだ距離 を競争

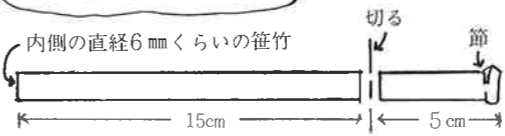
### (1)よの実鉄砲

手づくり遊びについてお話をしてみたいと思います。しかも皆さんのおじいさん、おばあさんの子供のころに草、木、竹などの四季折々の自然を利用して

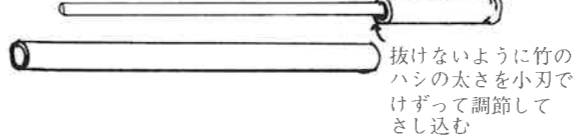


#### <鉄砲のつくり方>

材料 笹竹(長さ20cm) 1本  
竹のハシ 1本



竹のハシは竹筒より2cmくらい短かくし、竹筒よりやや細くする。



#### <鉄砲のうち方>



つくったオモチャ・伝承玩具についてです。精巧なプラモデルやマイコンさらには、パソコンなどに親しんでいる皆さんには、古めかしいことのように思われるかも知れませんが、わずかな道具を使っただけ、たつぷりと時間をかけ、考え、試しながら少しずつ完成して行くところに工業製品にはない手づくりの面白いところがある。でも、その時代時代の子供たちのつくる喜びと遊ぶ喜びの中から生まれ、誇りをもって受け

つがれてきたものです。それは多少不格好であっても友だちに自慢できるものでした。さて、ここで、市内沼沼に住む坂井弘治さん(六九歳)が、目をかかやかせて語ってくれたよの実鉄砲のつくり方について皆さんに紹介してみよう。よの実鉄砲は夏の遊びでした。図のように笹竹で鉄砲をつくり、竹筒の中へ押しこむ。初夏から初秋にかけて榎の実が熟する前に、子供たちはいっせいに作り始め、うった時の音の大きさや飛んだ距離を競争し

あったそうです。コツがありません。それは取った榎の実を水にたつぷりとひたしておくことで、実の乾燥を防ぐと同時に、爆発する音も大きくすることができました。榎について多少ふれておきます。こし科の落葉樹で高さ二十メートル、直径一〜二メートルにも達します。春には淡黄色の小さな花が咲き、果実は直径約七ミリメートルで九月初ころに黄赤色に熟します。ムクドリはこの実を好んで食べることからよの実(榎実)鳥とも呼ばれています。皆さんの家の近くにも榎があるかも知れませんが、福島潟の西部機場のわきにあります。榎の実が結ぶころ、福島潟を訪れ実際に観察して見るのも良いかと思えます。

博物館 佐藤 晴夫



福島潟の西部機場わきにある榎

## 地域別でタテ割り清掃

### 木崎小学校

ぼくたちの学校は、古い伝統ある木造校舎から、五年前に鉄筋コンクリートの新校舎に移りました。体育館は前から建っていました。新校舎は、どこでもきれいな



力を合わせてピカピカに!

のがあたりまえですが、木崎小学校は特に清掃に力をいれています。それは、自分のクラスをそうじをするのではなく、地域別のタテ割り清掃班制を行っています。一年から六年までの、同地域のみんなが力を合わせて一緒にそうじをするのです。ぼくは体育館をたんとうしています。学期末になると、高学年の人が協力して、ワックスがけをします。そのきれいさは、どこの学校にも負けないほどです。ふだんは、たんねんから先も一生けん命にがんばって、校舎はもちろん、その中で生活しているぼくも、どこの学校にも負けないくらいに木崎小学校になり、すばらしい木崎の子になりたいと思います。

六年 長谷川 亮

## ぼくらの学校

### 全日本学童軟式野球大会 下越一次予選代表

#### 葛塚はやぶさ(葛塚東小) 早通ファイターズ(早通南小)

第四回全日本学童軟式野球大会の下越一次予選で、市内から出場した二つのチームが代表に決定しました。この大会は、全国の小学生を対象に行われるもので、全日本軟式野球連盟が主催しています。下越一次予選は、五月十三日葛塚東小学校で行われ、阿賀北地区の代表四チームが戦いました。試合の結果は、葛塚はやぶさ(葛塚東

小学校)と早通ファイターズ(早通南小学校)が共に市外チームを破り、下越二次予選に出場することになりました。また、一位決定戦は葛塚はやぶさが勝ちました。県大会出場をかけた下越二次予選は、五月二十七日豊栄南運動公園で行われました。

## どうぞよろしく 新しい編集委員

### ■新しい編集委員



高橋キミ先生 (太田小)



渡辺直子先生 (豊栄南小)



渡辺祐男先生 (市教委指導主事)



福田智之先生 (横井小)

■かわらない編集委員(敬称略)  
▽涌井好一(岡二小) ▽尾谷セツ(葛塚東小) ▽山田義己(木崎中) ▽安達光威(早通中) ▽高橋剛(中央公民館)